

あなたとわたしの男女共同参画情報誌

新しい風

2008年12月 高山市

No.33

あなたらしく 私らしく 誰もがキラリ輝くまち 飛騨高山 ～YOU&MEプラン21が目指している姿です～

家事イコール＝お母さんだけの仕事？



～ともに学ぶ～

**豊かな人間性を育み
ともに高めあう教育**

小さい頃からの男女の平等意識の形成が重要ですが、男性と女性とでは子どもの性別による育て方について認識の違いがあります。男女共同参画の意識形成や豊かな人間性を育む上で保護者や学校関係者をはじめ、地域や事業者の人たちが男女共同参画についての正しい知識や認識をもち、子どもたちの視点で一緒に考え、毎日の生活の中でともに実践していくことが大切です。

たとえば普段何気なく見ているテレビの食器用洗剤のコマーシャル。家族みんなで協力して食事の後片付けをしているときに見たその場面はお母さんが皿を洗うシーン。「後方付けはお母さんだけの仕事ではないはず。」

また、書店でよく見かける週刊〇〇という雑誌。「表紙はなぜ水着の女性なのでしょう。」読みたい内容の週刊誌でも手に取るときに躊躇してしまふ。読み手の性別を限定するような表紙の表現には疑問を感じます。このような何気ない日常からも男女共同参画の視点で考えるところが大切だと思います。まずは気づくことが大切です。気づくことによって生活の中での実践につながっていくことを望んでいます。

日ごろ何気なく表現しているものを、「男女共同参画」の視点から確認してみよう。
また、確認作業をすることにより、日ごろから「男女共同参画」の視点を意識するきっかけにしてください。

9月発行の新しい風では、男女共同参画推進会議専門部会の活動紹介の中で、気付きのチェックリストにより皆さんに「男女共同参画」を身近に感じていただくことを目的にお知らせしました。

今回は、高山市が行うすべての「情報発信」を対象にして、男女共同参画の視点からの注意点をまとめた「高山市情報発信ガイドライン」を掲載しました。それを基に、普段何気なく使っている表現の中にも問題になるものがあるということに気付いていただくため、昨年の専門部会の教育グループで作成した高山市情報発信ガイドラインから4つの項目を抜粋し掲載しました。

必要な情報を正確に分かりやすく伝えることはもちろんですが、男女共同参画の視点からチェックしてみることも重要です。社会通念や慣習の中には、「男性はこうあるべき」、「女性はこうあるべき」という、社会によって後天的につくりあげられた社会的性別（ジェンダー）があります。社会的性別自体は、良い、悪いの価値を含むものではありません。しかし、社会的性別（ジェンダー）が性差別、性別による固定的役割分担及び偏見などにつながっている場合もあります。

ぜひこの機会に「男女共同参画」の視点を意識するきっかけにしてください。

男女を固定的に表現していませんか？

行動や嗜好は人それぞれ異なります。固定的な性別のイメージにより役割分担を強調したり、性別で職業を分ける表現は控えましょう！

男性＝スーツ姿



「男性は仕事・女性は家庭」といった固定的概念を捨てて伝えたい内容にあった様々な表現をしましょう。

女性＝エプロン

男性＝服の色が寒色系



性別に関係なく様々な色や形の物を身につけている現実を表現しましょう

女性＝服の色が暖色系



Point!

人物のイラストを使用する時などは、男性または女性だけに使われる固定的な色・形にとられがちですが、男女どちらも個性を表現するようにしましょう。

また、職場や家庭で協力する姿や、「男性は仕事、女性は家庭」といった固定的概念を捨てて男女が様々な職業に就いている現実を反映し、多様な個性を表現するとよいでしょう。

性に特有な表現は必要でしょうか？

男性または女性だけに使われる表現は避けて、男女どちらにも使える言葉を使用したり、別の表現を考えるようにしましょう。

男まさり・男顔負け
女だてらに・女々しい
女(男)のくせに



女性が男性より劣っていることを前提とした表現と捉えられるので、「活発な」「積極的な」などの表現にしましょう。

看護婦・看護師
保父・保母
保健婦・保健士



看護師
保育士
保健師



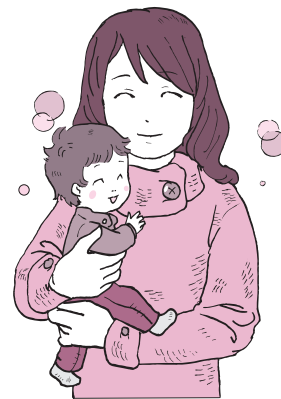
Point!

看護師や保育士などは、法律が改正されるなど統一された表現に変わってきています。また、「対になる表現があるか」という視点が、特有な表現にあたるかどうかを判断する目安になると思われるので、参考にするとよいでしょう。

男性と女性のどちらにも伝わりますか？

伝えたい相手は男性ですか？女性ですか？それとも両方ですか？

「スポーツマンの ための施設」	➔	「スポーツをする 人のための施設」
「お母さんのための 子育て講座」	➔	「お母さん・お父さんの ための子育て講座」
「母親と子どもの イラスト」	➔	「男女が協力して育児を しているイラスト」



Point!

内容が男女双方に関わるものであるのに偏った表現を使うと、伝えたい相手に正しく伝わらないことがあります。勤労者やスポーツをする人などを対象とした制度にもかかわらず、「サラリーマン・スポーツマン」と表現したり、育児支援関係のポスターなどでは「母親と子ども」といった内容のものが多くみられます。

男性だけが登場するイラストを使用すると、女性は自分が対象ではないと感じるかもしれませんね。また、女性だけが子育てをしているというイメージも固定化されているようです。

現在は、育児休暇を取得し、育児に積極的に取り組んでいる男性もみえます。男女どちらかに偏らない表現にしましょう。

男女を対等な関係で表現していますか？

男性を中心的・指導者的な立場、女性を従属的的な立場で表現したり、同じ職業や地位をあらわすとき、女性の場合だけ「女」をつけていませんか？



学校等の受付名簿	➔	男女混合名簿
父兄		保護者
女房役		補佐役
主人・亭主		夫
家内		妻
女社長	➔	社長
女医		医師
女弁護士		弁護士

Point!

以前、学校の出席名簿は「男性が前、女性が後」の順でしたが、男女対等な立場を意識することにより、生年月日順や五十音順などのように「混合名簿等」にしているところが増えてきています。

家庭生活において、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担でなく、対等な地位の表現にしてみませんか？同じ職業や地位であっても女性を特別視していることがありませんか？

男性または女性だけに使われる表現は避けて、男女どちらにも使える表現にしましょう。

「男女共同参画」と言うについつい、男と女という言葉に反応してしましますが、男女共同参画社会が目指しているのは、家庭・地域・職場で「誰もが自らの個性と能力を發揮し、自分らしく生きられる」社会です。思いやりを持って一人ひとりを大切にしていく社会が男女共同参画社会であるのなら、私たちの毎日の生活や仕事にもいろいろ関わってくると思いませんか。

生活の中で相手を尊重し、思いやりのある態度で接すること、「ありがとう」と感謝の気持ちをちゃんと伝えられることによって、お互いの大切さに気づく事も、そのひとつだと思います。

「あなたらしく 私らしく 誰もがキラリ輝くまち 飛騨高山」

これは、第2次高山市男女共同参画基本計画でめざす高山市の姿です。

「男だから、女なのに」から、その人らしさへ視点を変える。これから必要なのは、こういった柔軟さを持つこと。まず人を思いやるやさしさが男女共同参画推進への第一歩となります。

毎日の生活や仕事の中で、「男女共同参画社会」の視点を持って、自分が関わっていることはなんだろうとちょっと考えてみてください。意外と身近なものなんだと気づいていただけたらと思います。

第1回 男女共同参画関連者座談会開催

市役所201会議室にて10月24日、市内の男女共同参画推進懇話会委員、男女共同参画サポーター、女性人材リスト登録者約30名が参集し、第1回男女共同参画関連者座談会を開催しました。これは第2次高山市男女共同参画基本計画が来年度に最終年度を迎え、次期計画策定のための提案や意見をいただくために開催したものです。

参加者を6つのグループに分け、第2次高山市男女共同参画基本計画の5つの柱である「家庭」「教育」「職場」「地域」「推進」の5つの項目について、ざっくばらんに意見を述べていただく形式をとりました。

●家庭

夫婦ともに仕事を持っていても家事は妻の役目である現実がある。

男性の育児参加、家事参加はもちろん大事だが普段の育児、家事に対する感謝のことは「ありがとう」を言うことがとても大事。

夫が仕事から帰ると、妻が熱を出して寝ていた。「僕は大丈夫。外で食べてくるから。」それでは妻の食事はどうなるのでしょうか。

●教育

応援団長を女子がやったり、卒業式の男女混合での「あいうえお順」など、ずいぶん男女共同参画に配慮されるようになった。

精神的に成長する重要な時期にある中高生に向けて、男女共同参画施策をどうするのかを明確にする必要がある。

●職場

建築業でも、女性が採用されている会社は伸びてきている。女性の意見が多く取り入れられている。

給与体制はまだ男性の方が収入が高く、このことが男性の育児休業取得が困難であることにつながる。

病院には男性の看護師が増えてきたが、患者によっては女性の看護師の方がいいという希望もある。患者が選択できるような体制も必要かもしれない。

●地域

町内会の役員の方はほとんど男性。夜の時間帯に出ていけるのは女性ではなかなか難しい。

女性部という一括りの中での活動も見直しが必要なのでは。

地域で気楽に集まれる場所がほしい。

●推進

女性青少年会館について、女性が利用するという視点で名称がつけられており今では名称に違和感を覚える。

市の男女共同参画は後退しているのではないか。窓口を一本化してほしい。

などの活発な意見が出されました。今回出された意見をもとに問題点を見出し、第2回座談会においては、その解決策や新たな施策などについて意見をいただきたいと考えています。

編集後記



●日常生活の中で男女平等な関係、特に言葉遣い「家内」を「妻」に「女房役」を「補佐役」に「主人、亭主」を「夫」に、また「女のくせに」「男のくせに」の表現を絶対しない。編集委員としてさまざまなことを学び、男女共同参画、男女平等を地域での活動に活かしたいです。

●「うちの主人が〇〇しました」こんな言葉も日常的について使ってしまうですね。そんなに敬つていゝる訳でも、かきずいていゝると思えないのに……(笑) 夫の両親から長年嫁、嫁と言われ憤慨している方も多いいのではないのでしょうか。日ごろ習慣的に使つていゝる言葉の意味を、洗い直してみると家庭の中にも問題点は多そうです。

●普段の生活の中で何気なく見かける物も表現によつては男女の区別がされてしまふ事に気付かされました。表現する事は誰もが自由ですが、これからは少し配慮して表現する事に気を使つてみてはどうでしょうか？

●昔、学校の文書に「父兄」との記載があり、幼心に強く違和感を感じました。残念ながら今でも時折「父兄」といゝ言葉が耳にします。個人の意識が因習を打破します。時代に相応しい、思いやりのある表現を使いたいものです。

●今回のテーマは表現と男女共同参画。いつも「新しい風」のためにイラストを描く際は気をつけています。女の子の服にピンクの色ばかり塗らないようにとか、逆に男性にもピンクのYシャツを着せてみよう、とか。

●ひとこと スタッフの志多吉雄さんは男女共同参画をテーマに市展にポスターを出展し、男女のお互いの思いやりを表現されました。またイラスト担当の関西恭子さんは、名古屋市中区つながれつと名古屋にて1月16日～29日にイラスト展を開催されます。

●ハスタッフV: 志多吉雄・関西恭子・杉山ひろ美・金子節子・瀧根大樹(公募により、市民編集委員をお願いしています)

YOU&ME プラン21 は、みなさんと一緒に進める男女共同参画の基本計画です。

発行：高山市市民部市民活動推進課
〒506-8555 高山市花岡町2丁目18番地
TEL0577-35-3412 FAX0577-35-3414
編集：市民編集スタッフ イラスト：関西 恭子

E-mail shisui@city.takayama.lg.jp
ホームページ http://www.city.takayama.lg.jp
/shisui/josei/index.html
○この情報誌について、ご意見等をお寄せください